

### 3、 ゲンナーイラブチャー(ナンヨウブダイ)の突き方・寝るポイント

まずゲンナーイラブチャー(以下ゲンナー)が寝るポイントですが、深場と浅場にありますが、今回は電灯潜り(素潜り)で行う為、浅場のポイントを紹介しします。

イメージとしては、リーフとイノーの境目で白波が立っている所がありますよね

その白波の下になります。ですから、初心者の方

にはあまりおすすめ出来ないポイントだと思います。リーフの形状は、割れ目割れ目の連なる場所とその割れ目の所々に丸っこいくぼみ(ふむい)があるような環境が理想です。そして大きな割れ目の中に潜水して水中から割れ目の横を見渡すような感じで探す事が出来ます。

まくぶと同様で半端に起きている事が多いので海中電灯は、奥に向けて、光を嫌がったゲンナーがこちら側に頭を向けるように仕向けて下さい。急所は目の後ろです。ゲンナーは意外にもそこまで強いパワーで暴れる事がないので、しっかり突く事(頭等固い部分を突く事)が出来れば思ったよりもすんなり獲る事が出来ます。

因みに、ゲンナーに良く似たイラブチャーで、ナガブダイ(島では“たまたー”と言う)のがいますが、このイラブチャーは上記の環境の中の、丸っこいくぼみ(ふむい)の中にいます。ナガブダイはオスは青色で発見しやすく、メスは赤黒っぽい色をしているので見つけるのが少し難しいのですが、メスとオスはほぼ近くで寝る傾向がある為、メスの赤黒いタイプのイラブチャーを見つけたら、近くで青いオスもいる可能性がかなり高くなります。セットで探してみる事をおすすめします。

後、私の個人的な感覚ですが、ゲンナーイラブチャーは、“ザ・沖縄の魚!”という感じがします。その良質でタンパクな刺身は癖になりますよね。是非自分で仕留めた新鮮な刺身を食べてみてください。

